

小金井市公立保育園の運営に関するアンケートについて (平成28年度～平成30年度)

■ アンケート実施時期

平成28年度 : 平成28年8月18日～8月29日

平成29年度 : 平成29年10月19日～10月31日

平成30年度 : 平成30年10月11日～10月22日

■ アンケート回答数

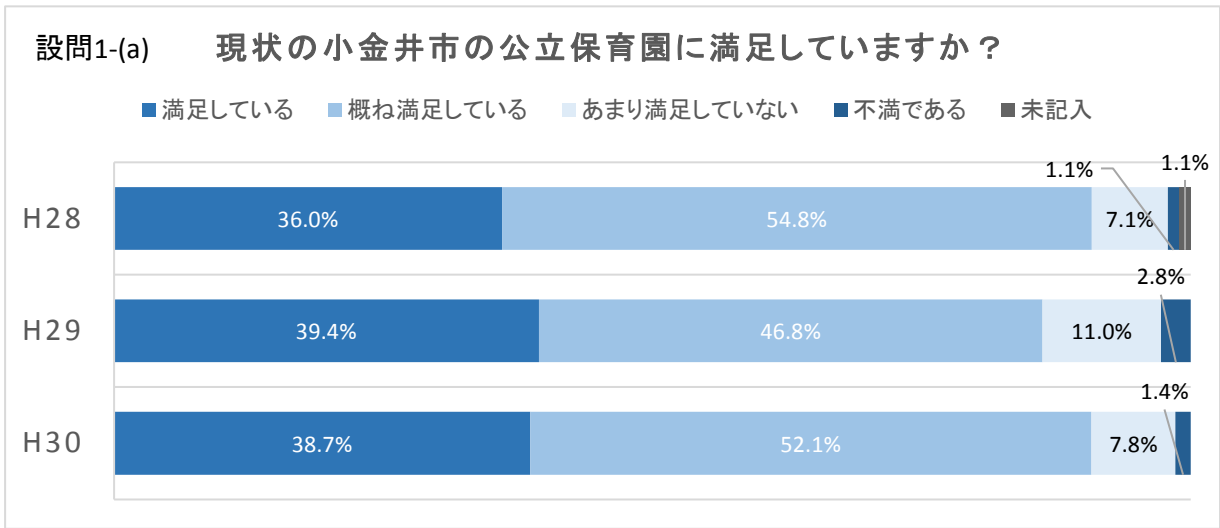
平成28年度 : 283件

平成29年度 : 218件

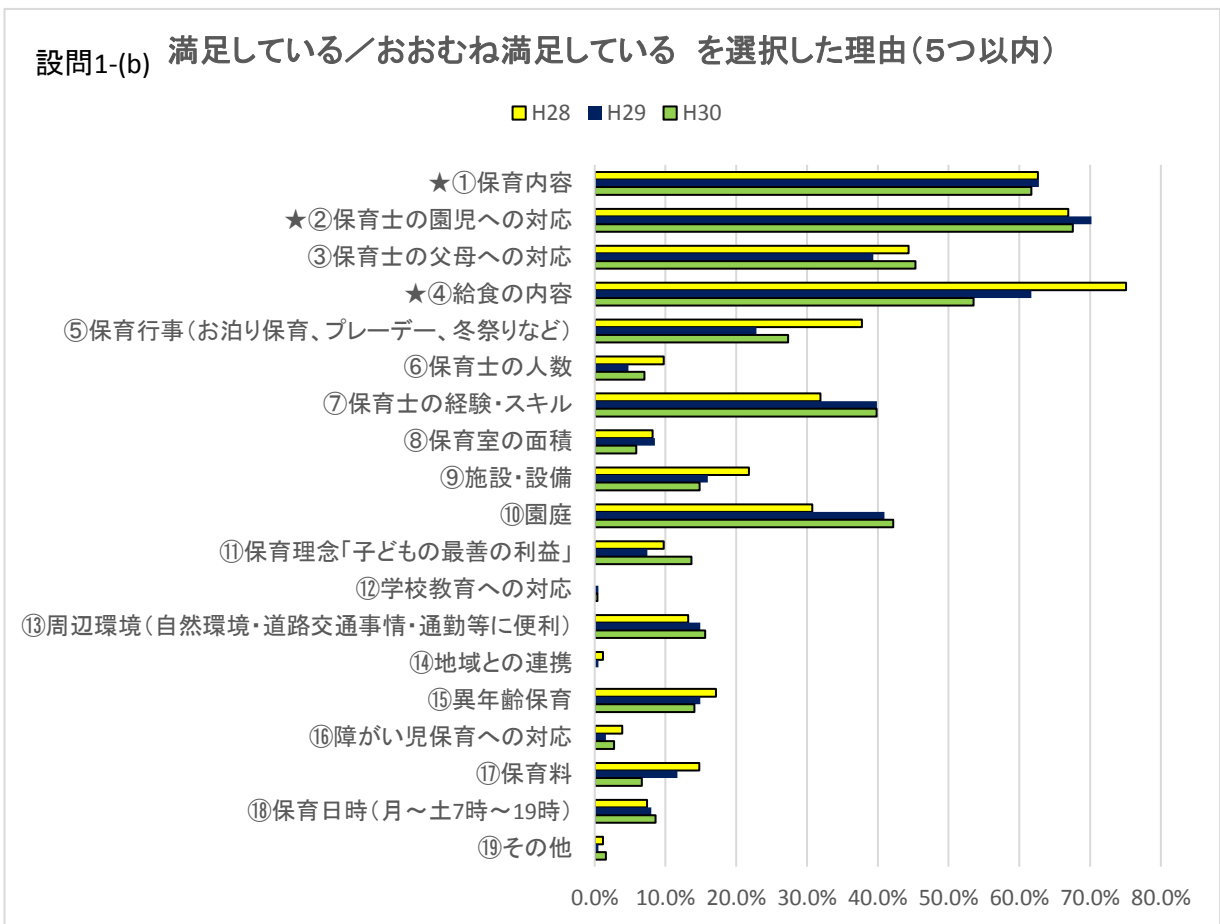
平成30年度 : 282件

■ 集計方法

- ・ アンケート項目のうち、設問1-(a)、1-(b)、2-(1)について3年間の経年比較を行っています。
- ・ 回答数は年度毎にばらつきがあるため、回答数ではなく回答割合で比較を行っています。



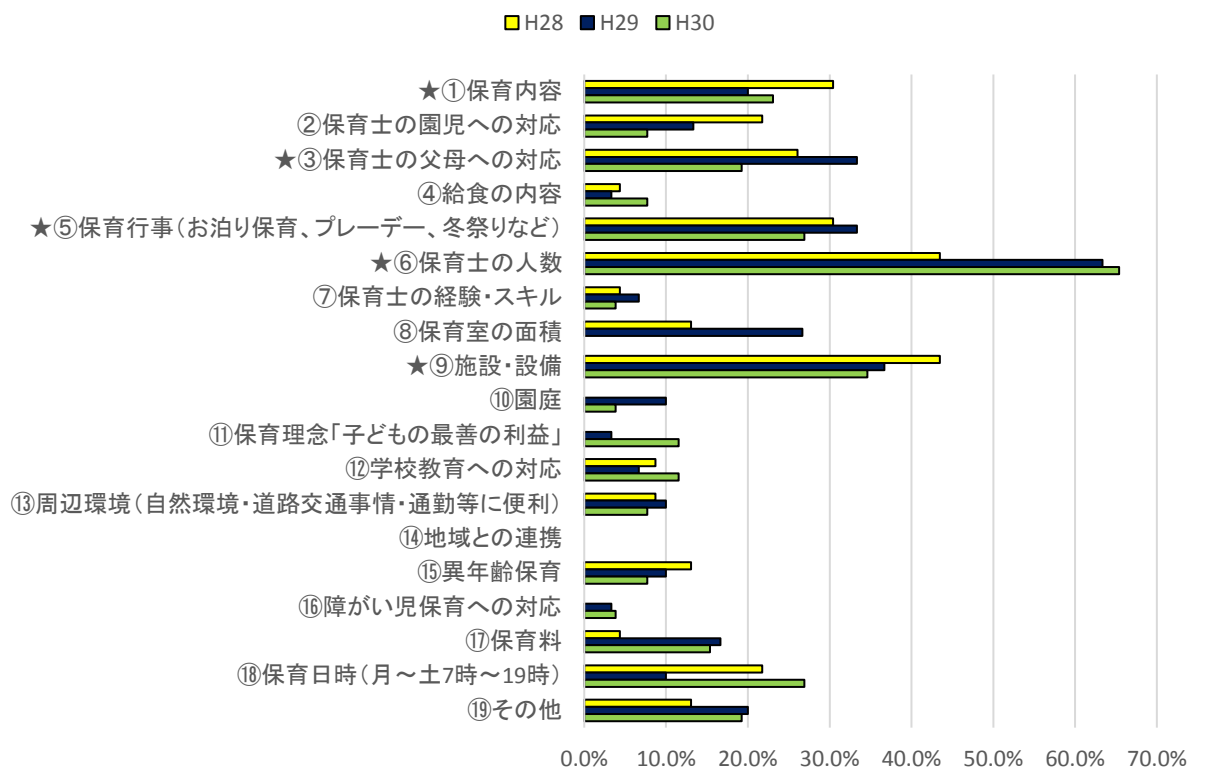
平成28～30年度の回答数を見ると、「満足している」及び「概ね満足している」と回答した割合の合計は、各年度とも90%前後であり、満足度は高い水準を維持しているものと考えられる。



※ 設問1-(a)で「満足している」「おおむね満足している」と回答した人のうち①～⑱を選択した人の割合を算出

- 19項目のうち、3年間を通じて満足度が高い項目は、「①保育内容」、「②保育士の園児への対応」、「④給食の内容」などとなり、いずれも50%を超える人がこれらの項目を選択している。
- 「④給食の内容」を選択した人の割合が低下傾向にある反面、「⑩園庭」を選択する人の割合は増加傾向を示している。

設問1-(b) あまり満足していない／不満である を選択した理由(5つ以内)



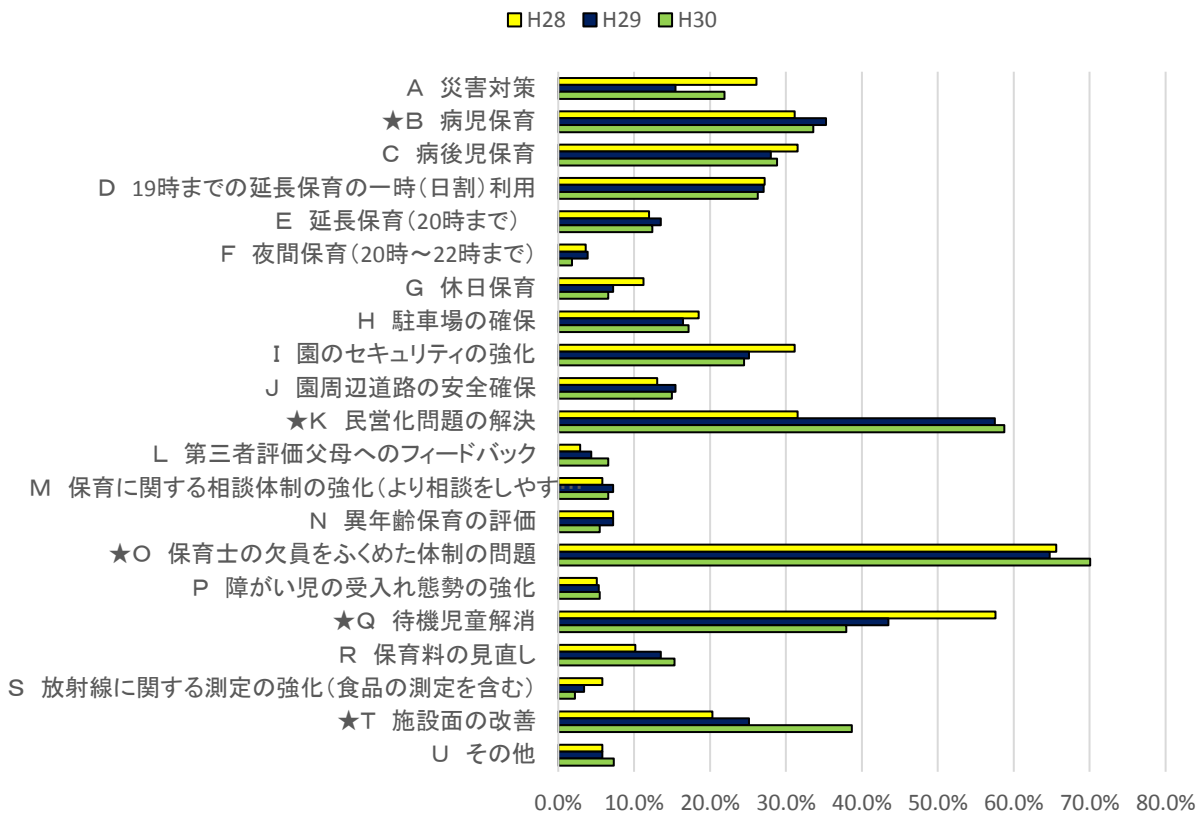
※ 設問1-(a)で「あまり満足していない」、「不満である」と回答した人のうち①～⑱を選択した人の割合を算出

(参考:「あまり満足していない」、「不満である」と回答した人数(回答者全体に対する割合))

- ・ 平成28年度: 23人 (8.1%)
- ・ 平成29年度: 30人 (13.8%)
- ・ 平成30年度: 26人 (9.2%)

- ・ 「⑥保育士の人数」を理由に挙げている人の割合は、年々増加してきている。
- ・ 「①保育内容」、「③保育士の父母への対応」、「⑤保育行事」、「⑥保育士の人数」「⑨施設・設備」を理由に挙げている人の割合は、年度によっては30%を超えている。

設問2-(1) 保育や保育園関係等で市に要望したいこと(1位～5位)

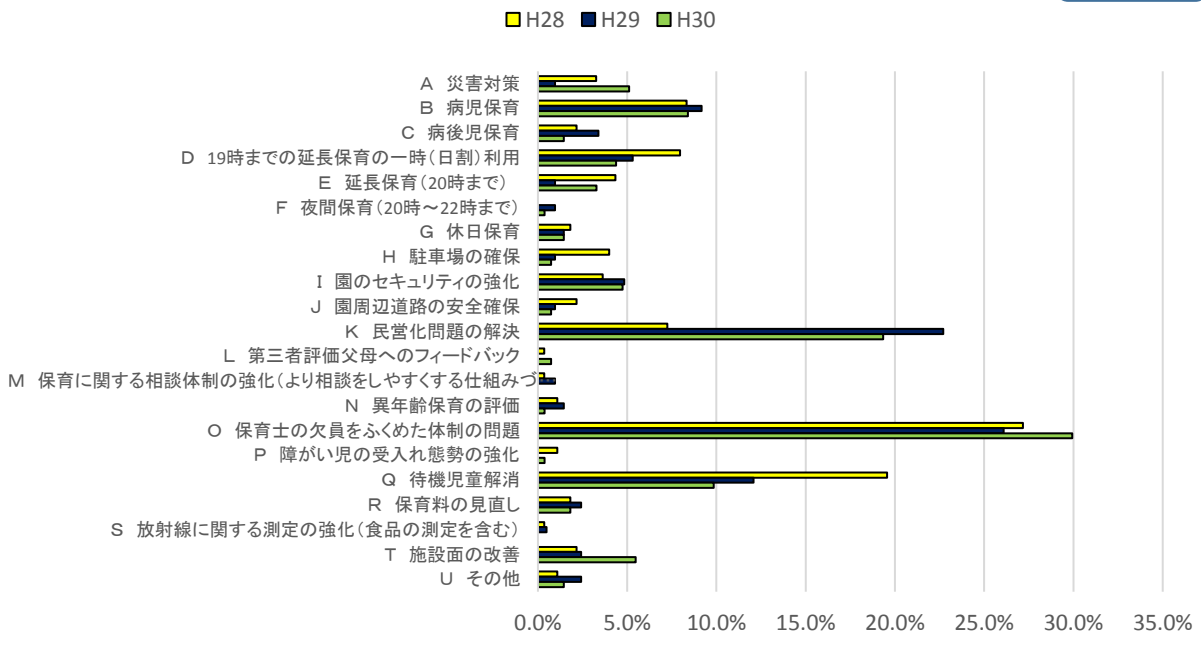


※ 1位～5位のいずれかにA～Uを選択した人の割合を算出
 ⇒ 1位ではないものも含めて、問題意識として持っている項目をすべて洗い出した結果

- 3年間通じて「O 保育士の欠員をふくめた体制の問題」が1位になっている。
- 「K 民営化問題の解決」、「T 施設面の改善」は、年々割合が増加している。
- 「B 病児保育」、「K 民営化問題の解決」、「O 保育士の欠員をふくめた体制の問題」、「Q 待機児童解消」は、3年間通じて30%を超える人が選択している。
- 「Q 待機児童解消」は年々割合が減少している。

設問2-(1) 保育や保育園関係等で市に要望したいこと(1位)

参考



※ 1位にA～Uを選択した人の割合を算出
 ⇒ 問題意識が一番高い物のみを集計した結果